

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の全容は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

平成30年6月25日撮影

総括質問

一般質問

委員会視察レポート

議会を知つtoCO



そこがききたい

▶ 消防職員数の統計

戸田市の消防職員数や救急出動件数等の推移

	人口	職員数	救急出動	千人対
H5年	90,724人	116名	2,902件	1.28
H11年	105,708人	139名	4,057件	1.31
H29年	137,320人	139名	6,522件	1.01
H5-29	1.51倍	—	2.25倍	—

消防職員数の比較（広域を除く少ない地域）

	消防	人口(H30)	職員数	千人対
1	川口	582,371人	543名	0.93
2	戸田	139,187人	139名	1.00
3	越谷	341,057人	348名	1.02
4	さいたま	1,280,576人	1,374名	1.07
5	蕨	73,179人	85名	1.16

議員

①担い

福祉部長 相談支援事業所の充実。住まいや日中活動場所整備。医療的ケア児も含めた障害児支援の充実。

議員 重点政策は。

障がい者総合計画とは

※①

議員 戸田市消防職員定数は25年間増員されず、近隣に比べ人口に対する職員が少なく、消防職員と救急救命士増員への市の考えは。

総務部長 市全体でバランス考慮し検討する。

消防長 人口は1.5倍。救急件数は2倍以上増加。人口15万人で救急車1台の増車も必要。救急隊や消防職員増員は急務と考える。

戸田市消防

消防職員と救急救命士増員への市の考えは

「増員は急務。バランス考慮し検討」

矢澤 青河 議員

手不足解消②重い障害者等、親なき後問題③緊急時預かり対応など市の考えは。

福祉部長 ①現状を把握し情報提供や学生受け入れ・交流等、地道に進める②就労系施設やグループホーム等のニーズが高い。民間や関係自治体と連携し進める③にしの杜を活用した支援体制を検討する。

議員 障害者は18歳以降、放課後等デイサービスは利用できず、夕方16～19時の居場所が減り、留守番や家族の勤務を調整する事例もある。対応するサービスに日中一時支援があるが単価が安く提供事業者が少ない。夕方の居場所への市の考えは。

福祉部長 アンケート調査等では日中一時のニーズは高くない。法定サービスは拡充する。

※ ①戸田市障がい者総合計画……障害者施策を総合的に推進する6年間の総合計画。

※ ②日中一時支援……障害者等の活動場所確保や介護をしている家族の負担軽減を目的とした一時預かり事業。

議会調査権

百条委員会出頭は不正があつた判断になるか
「百条委員会はあくまで調査機関」

林冬彦 議員
はやし ふゆひこ

罪かどうかをそこで判断するものではない。

議員 市長の認識は。

つぶやき
印象操作や風評被害を起こしてはなりません



議員 議会は調査権を使って行政監視の目的

で「百条委員会」を設置する場合もあるが、百条委員会に出頭したことをもって、その人に、何か不正があるという判断になるのか。

総務部長 不正の有無・有罪無罪の判断は司法が行う。地方自治法百

条に基づき議会に設置される「百条委員会」は、あくまで調査を行う場であり、求めに応じ出頭・証言することが必要とされるが、有



▶ 戸田市議会（議場）

市長 総務部長の発言の通りである。

議員 百条委員会に出頭し証言したことを取り上げて、証言者が不正をしたという風評被害が起きてはならない。政治に携わる者は市民の人権を守る観点からも心すべきである。

その他の質問

Q 戸田市政策研究所の設置目的は。

A 都市間競争時代を勝ち抜くため、職員の方策形成能力の底上げを図り、市全体の政策形成力の向上につなげることを目的に設置。

Q 戸田市第五次総合振興計画策定に向けての現況は。

A 「市民・議会と共に協働の視点を持つて創り上げていく」という策定方針を定めたところである。

一般質問

下水処理場

臭気だけでなく老朽化による不具合の心配も

「臭気は規制値未満」

あそう かずひで 浅生 和英 議員



議員 荒川水循環センターは県南5市、19

0万人の下水処理を担う重要な施設。県内で最も歴史ある流域下水道施設。昭和47年から約50年間、地域住民と行政は臭気課題に取り組んできた。原発事故後、放射性物質を含む下水汚泥焼却灰を敷地

内に保管、被爆の心配もあった。現在は、臭気だけでなく、老朽化による不具合の心配も。ここは県の施設である。現状と今後の対策は。

環境経済部長 臭気は定期的に測定しており、規制値未満。臭気対策は、今後も県へ要望していく。

議員 平成24年笹目環境対策協議会、平成29年美女木まちづくり協議会から、県へ要望書提出。下水処理場の臭気問題は、いまだ継続中。地域の協議会と継続的な意見交換の機会を要望する。

その他の質問

Q 笹目川、さくら川周辺の整備は。

A 歩行空間を一部の区間で整備する。

Q 公園の再整備計画、公園の喫煙について。

A 公園の再整備計画は、地域の均衡と特色のある公園を検討。また、特性に合わせて受動喫煙対策を講ずる。

Q 同じ地域の住民が異なる避難所へ避難する地域について。

A 市内に9町会ある。戸田市ハザードマップなど、普段から災害時の対応を考える重要性を周知する。



▲埼玉の下水道マスコット「クマムシくんとなかまたち」